

神奈川大学生涯学習 エクステンション講座【2013年後期】

本講座は神奈川大学と「防災塾・だるま」が共同で企画し、提供するものです。

2013年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座

《講義録 2限目》

《講座のメインテーマ》

地域にいかす「防災・減災の知識・知恵」を学ぶ - 2013

投稿者：講座運営委員 成松 洋

◆日時：2013年10月31日(木) 13:30-17:00

◆会場：KU ポートスクエア

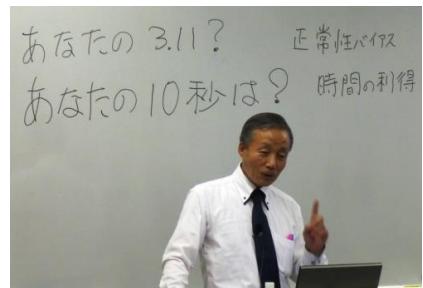
◆本日のテーマ◆

大災害 被災地から学び 地域に活かす

減災、死なないこと～不慮死に巻き込まれないための考察～

講師 佐藤 榮一 氏（防災・生活安全 我聞塾 防災アドバイザー）

- 被災地で聞いたり体験した事の説明から、それを地域で活かすことを学ぶ。



《前半：佐藤講師による講義風景》

★「時間の利得(メリット)」「時間の損失(タイムロス)」～時間軸で考える防災を説く～

- 東日本大震災、高齢災害弱者に起きたこと
避難のタイミングを逸した 孤立した 時間の利得をいかせなかつた
- 要援護者こそ「率先避難者」になろう

★「マサカをモシカに」～想定外想定の思考～

- 正常化バイス～危険状態に陥りながらも未だ自分は安全だと考える～を打ち破る実践力
- 子供や高齢者が 大人たちの正常化バイスの犠牲にならないような社会の仕組みを作る

《後半：受講生全員と講師による意見交換》

～あなたの3.11 あなたの10秒は？～

◆自宅で、職場で、外出先で さまざまな経験と気づき：

地震直後にそれぞれがとった行動、周囲の状況、
家族の安否、帰宅困難……減災への意識へ。

◆家族に起きたさまざまな状況と困難：

地域のつながりの中で、さまざまな支え合いがあった。



前回講座ふりかえり
シートに回答。「講
座運営に生かしま
す。」
(伊東運営委員長)

《まとめ》

～だれもが災害弱者～

- 災害時の事象のすべてを「モシカしたら」と考えて、
- 家族のため、地域のための「想定外想定」を。.